

ワンコインセミナー開く

中田商事が講演

NS物流研究会（樋口恵一会長、川崎陸送）はこのほど、トラックショーの会場で「物流ワンコイン・セミナー」を開催した。



同研究会は、平成

17・18の両年度に国交省自動車交通局貨物課が主催した「若手トラック経営者等によるトラック事業の明るい未来を切り開く方策等を検討する研究会」に参画したメンバーがその後、自主的な研究会として設立した組織。

1講演につき聴講料500円という同セミナーでは、同会会員の経営者が自社での取り組みについて講演し、

神奈川大学・齋藤実教授のゼミの学生グループが研究の結果を発表した。3日間にわたっ

て、様々な講演・発表が行われ、学生との質疑応答が繰り広げられた。

スピーカーの一人として登壇した同会副会長の中田純一氏（中田商事、三重県伊賀市）は、「お客様への環境・

安全を意識した提案によるパートナーシップの構築」と題し講演（写真）。

中田氏は、原価をオープンにしたエクセルベースの見積もりを紹介し、荷主との取り組みを説明。同社

は、車両の償却費用から保険料、販管費や利益まで入力して荷主に提示。「怒ってしまう

担当者も多いが、企業として利益を確保するのは当然」とし、「その代わり、当社も顧客のコスト削減には全力

を尽くしている」としていることを荷主に理解してもらった。

また、デジタコ、ドラレコ、ナビ、バックモニター、ハイブリックド車など様々な設備投資を先行させることで、配送時間や距離の短縮に成功させ、荷主との関係を醸成させる手法も紹介。

「安全・環境へのコストが運賃に含まれて

いることを荷主に理解してもらったことが必要」とし、「話を聞いてくれる荷主は10社に1社。その中で、発注を頂けるのはもっと少ない」とも。「荷主側が運送会社での管理手法を理解されると、当社の提案や運賃も『適正コスト』として受け入れて頂ける」と語った。

（大西友洋）